# 農業農村整備事業位置図

## 神奈川の水田を支える基幹的農業水利施設

### ●頭首工（5施設）


栢山頭首工（小田原市、開成町）


小沢頭首工（相模原市）


磯部頭首工（相模原市）


清水下頭首工（相模原市）


昭和用水頭首工（厚木市）

### ●水路（用水路：7施設、排水路、：1施設）

| | 名　称 | 延長(m) |
|---|---|---|
| 用水路 | 相模川左岸幹線用水路 | 24,603 |
| | 相模川右岸幹線用水路 | 20,435 |
| | 昭和用水路 | 6,122 |
| | 文命用水路 | 2,465 |
| | 酒匂堰※1 | 11,533 |
| | 鬼柳堰※2 | 9,303 |
| | 栢山頭首工用水路 | 1,824 |
| 排水路 | 渋田川沿岸※3 | 9,440 |

※1　酒匂堰は、酒匂堰、酒匂川左岸用水路、和田用水
※2　鬼柳堰は、鬼柳排水路、鬼笑支線、豊川支線
※3　渋田川沿岸は、新川排水路（支線含）、歌川地区内排水路（左右岸、分流排水路含）、笠張川排水路

### お米はどこで作られる？

相模川・酒匂川沿いの平野部での米の生産量



・地域での米の生産量
2,770ha※4 × 494kg※5 ≒ 13,700トン
※4　当該地域に存置する10土地改良区の受益面積の合計
※5　10aあたりの収量

・県内生産量に占める割合
13,700トン ÷ 14,400トン※6 ≒ 95%
※6　本県の米の生産量

・人数で考えると
13,700,000kg ÷ 56.8kg※7 ≒ 24万人分
※7　米の1人当たりの年間消費量




**基幹的農業水利施設が着す、相模川・酒匂川沿いの水田地域で**
**県内の約95%、24万人分のお米が生産されています**

### 疏水百選

日本にある水路延長は40万km。農林水産省では、日本の美しい豊かな"水・土・里"（みどり）を育て継持していくことが重要と考え、農業のための用水をテーマとして疏水百選を選定しました。
国民からの推薦等のあった全国499地区から、一般投票及び疏水百選選考委員会によって110地区が選考され、神奈川県では、小田原市の荻窪用水と南足柄市等の2市3町にまたがる文命用水の2地区が選ばれました。

荻窪用水



文命用水

豊かな生き物を育む水田（海老名市）

富士山を望む畑地帯（綾瀬市）

市民に親しまれる久地円筒分水（川崎市）

里山でのざる菊まつり（南足柄市）


鉄道沿いの水田での代掻き（開成町）


広域農道と観光・宿泊施設（小田原市）

都市部での営農の様子（川崎市・横浜市）

| 凡例 | 記号 |
|---|---|
| 県界 | 県庁 |
| 市町村界 | 市役所 |
| JR | 区役所・町村役場 |
| 私鉄 | 警察署 |
| 高速・有料道路 | 消防署 |
| 国道 | 高等学校 |
| 主要地方道 県道 | 名勝 |
| 一般道路 | 発電所 |
| 歩道 | 灯台 |

| 凡例 | 記号 | 事業名等 |
|---|---|---|
| 多面 | 多面的機能支払事業 | |
| 中山間 | 中山間地域等農業活性化支援事業 | |
| HP | かながわホームファーマー事業 | |
| OHP | オレンジホームファーマー事業 | |
| 県営ほ場 | 県営ほ場整備事業 | |
| かん排 | 県営かんがい排水事業 | |
| 予防 | 農業水利施設予防保全事業 | |
| 基幹 | 土地改良基幹施設整備事業 | |
| 用排 | 農業用排水路整備事業 | |
| 広域 | 広域農道整備事業 | |
| 基幹道 | 基幹農道整備事業 | |
| 農道 | 農道整備事業 | |
| 農村 | 農村振興総合整備事業 | |
| 保全 | 農地保全事業 | |
| 施防 | 農業用施設防災対策事業 | |
| 湛防 | 湛水防除事業 | |
| 農地 | 農地課関係機関 | |
| 取水 | 農業用取水施設（基幹頭首工） | |
| 基幹 | 基幹農業用水路 | |
| 神奈川県里地里山の保全、再生及び活用の促進に関する条例 | 選定日 地域名 | 里地里山保全等地域 |
| 農業振興地域 | 「農業振興地域と農用地区域」（国土数値情報（農業地域データ）（平成27年度）国土交通省）を基に更新（令和5年12月31日現在） | |
| 農用地区域 | | |

| | 所在地 | 電話 |
|---|---|---|
| 神奈川県環境農政局農水産振興課 | 〒231-8588 横浜市中区日本大通1 | (045)210-1111(代) |
| 横浜川崎地区農政事務所 | 〒226-0015 横浜市緑区三保町2076 | (045)934-2371(代) |
| 横須賀三浦地域県政総合センター | 〒238-0006 横須賀市日の出町2-9-19 | (046)823-0210(代) |
| 県央地域県政総合センター | 〒243-0004 厚木市水引2-3-1 | (046)224-1111(代) |
| 湘南地域県政総合センター | 〒254-0073 平塚市西八幡1-3-1 | (0463)22-2711(代) |
| 県西地域県政総合センター | | |
| 小田原合同庁舎 | 〒250-0042 小田原市荻窪350-1 | (0465)32-8000(代) |
| 足柄上合同庁舎 | 〒258-0021 足柄上郡開成町吉田島2489-2 | (0465)83-5111(代) |

農業農村整備事業等の位置は、令和5年4月時点のものです。
測量法に基づく国土地理院承認（使用）R 5.hi 604

### 農業用施設の保全管理作業の負担軽減と異常気象時の迅速な対応【三浦市　初声・仲田元屋敷地区】　かながわの里

初声・仲田元屋敷地区農地・水・環境保全会

**活動開始前の状況や課題**

畑地かんがい施設の給水栓を利用した作物の栽培

○主要作物：年平均2、3作
冬作のダイコン、キャベツ、
夏作のスイカ、カボチャ、メロン等
○　活動開始前から土地改良区や水利組合が排水路や畑地かんがい施設の点検補修等を行っていた。
○　維持管理費は、すべて農家の実費で対応していたが、野菜価格の下落により対応が非常に厳しい現状であった。

**取組の特徴 －三浦市農協が事務処理を支援－**

農地や施設の点検

○　土地改良区や水利組合の事務局を農協等で行っていたことから、三浦市内の**5つの活動組織の事務を能率良く行うために三浦市農協で支援**している。
○　農協の事務支援により、**地元農家の事業の事務手続きが軽減**され、農地を維持するための共同活動や農産物の生産に専念出来るようになっている。
○　活動組織の中に水路委員会を設置、各委員は各ブロックで作業指示や意見聴取し、活動組織の役員が意見を整理することで、**次回の共同活動へ活かされる体制が整っている。**

**取組の効果**

水路の一斉清掃

○　本対策の導入が図られ、全国有数の野菜生産量を誇る畑地帯において、農道、水路、畑地かんがい施設の維持管理が可能となり、農業生産の効率化はもとより、農村環境の保全や**異常気象による二次災害防止**に寄与。
○　事業導入により、**実費徴収額が軽減**し、個人の要望から地域の要望へと意識が変化。

| 異常気象時の対応回数 |
|---|
| H20以降 |
| 年　5回以上 |
| ※三浦市　5地区合計 |

| 水利組合の維持管理費が軽減 | 導入前 | 導入前 |
|---|---|---|
| | H19以前 | H20以降 |
| 7%減 | 約11円/㎥ | 約3.1円/㎥ |

事業名：多面的機能支払交付金（農地維持支払）（平成20年度～）
取組面積：100.4ha

### 農地や公共施設の湛水被害を防止する農業用水路の改修【小田原市　鬼柳地区】　災害変動対策　かながわの水

○　地域の住宅化、商工業地化が急速に進展し、豪雨時における洪水到達時間の短縮及び洪水時のピーク流出量の増加に伴う浴水氾濫により農地や住宅地等の湛水被害が発生。
○　造成後50年を経過し、老朽化が進行した水路の改修に併せて流下能力を湛水被害が防止できるレベルに向上し、被害を未然に防止し、都市近郊農業の経営安定化を図る。

**【整備前】**　豪雨の度に水路から浴水し、周辺農地や公共施設への湛水被害が発生するなどの被害が発生。

老朽化した水門

豪雨により浴水

冠水している主要道路

**基盤整備**

**【整備後】**　水路の改修に併せ、流下能力の向上が図られたことにより、豪雨時の湛水被害の発生が防止され、地域の安全を確保。

取水門の更新

排水路の断面拡幅

排水路の複線化による機能強化（主要道路の浴水防止に貢献）

**＜事業の効果＞　湛水被害の未然防止と地域への貢献**

○　水路の改修により、高い効況・減災効果を発揮し、平成30年度の台風24号豪雨災害においては、当該地域の被害は甚ひ、収穫期の農産物の被害を防止するとともに、県民生活や物流経路の安全性を確保。
○　計画的に事業を実施し、早期に事業効果を発揮することにより、被害を未然に防ぐことが可能。
○　豪雨時においても緊急輸送道路に指定されたお東道路が浸水しなくなり、より適切な避難経路の確保が実現。




事業名：農村地域防災減災事業（平成6年度～令和10年度）
事業費：3,895百万円、受益面積：100ha、事業量：4,637m

### 水田の大区画化による営農組織の体質強化【伊勢原市　大田地区】　かながわの土

○　地区内のほ場は小区画不整形かつ排水不良であり、また農道幅員は狭く、用水路も未整備のため、営農に支障が生じ農業経営は不安定な状況にあった。
○　本事業により**ほ場の大区画化と農道、用排水路の整備**を行い、**農業生産性の向上、農作業の効率化を図る**とともに**担い手への農地集積を促進**し、地域の農業構造の改善等に資する。

**整備状況**

区画整理　1,635筆 → 785筆

大型機械の導入

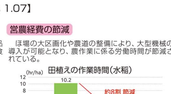
用排水路の整備

整備により、水田の区画が大きくなった。

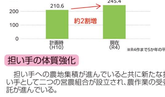
**事業の主な効果**【総費用総便益比　1.07】

**生産性の向上**
「米の食味ランキング」特A を受賞した水稲の新品種（はるみ）の生産が進んでおり、県内の学校給食にも供給されている。

**営農経費の節減**
圃場の大区画化や農道の整備により、大型機械の導入が可能となり、農作業に係る労働時間が節減されている。




**担い手の体質強化**
担い手への農地集積が進んでいると共に新たな担い手として二つの営農組合が設立され、農作業の受委託が進んでいる。



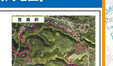

**＜波及効果＞　地域農業の理解促進**
多面的機能支払活動組織がかつとなり、毎年レンゲ祭りが開催され、多くの観光客が訪れている。
また、JA青年部と連携した田植え体験を行い、地域農業の理解向上に寄与している。

レンゲ祭り　田植え体験

事業名：経営体育成基盤整備事業（平成10年度～平成24年度）
事業費：1,790百万円、受益面積：73ha、受益者数：360人

### 都市近郊におけるマーケットインな農産物生産の実践【三浦市　諸磯小網代地区】　かながわの土

**【整備前】**
○　三浦半島特有の丘陵地の間の入り組んだ谷（谷戸）は、周囲の水が集まるため水田として利用されていたが、狭小な湿田であり、農作業に多大な労力を要することから、昭和50年代以降は耕作放棄地の発生が相次いでいた。




**基盤整備**

**【整備後】**
○　谷戸を埋め畑地を造成、農業機械の導入など営農条件の改善及び耕作可能な農地の拡大により、高収益作物へ転換し、大都市近郊の立地を活かした農業が展開されている。
○　近年では、農産物の更なる高品質化に向け、畑地かんがい施設の整備や農道整備を実施している。

**生産現場**　「かながわブランド」野菜の栽培を促進
○　営農条件が改善されることで、「かながわブランド」野菜などの高収益作物の導入を生産者自らが進んで取り組み、作付けが盛んに。

かながわブランド「三浦だいこん」　かながわブランド「三浦やぼちゃ」

**加工・流通**　消費者ニーズを捉えたイタリアン野菜の生産
○　大都市近郊の立地を最大限に活かし、外食産業との契約数増や消費者ニーズに合った少量多品種の畑地野菜を生産。
○　イタリアン野菜を大都市のレストランや居酒屋へ直接出荷。

多品種のイタリアン野菜

**担い手**　若手農業者の組織「みどり会」が地域を牽引
○　専業農家の後継者が「みどり会」を結成し、地域営農の中心に。
○　都市在住の親子を対象とした農業体験イベントも実施。

若手農家のみなさん

**高収益作物の栽培による農業所得の増加**
○　基盤整備を通じた用水の安定確保により「かながわブランド」野菜作付けが拡大。
○　大都市近郊の立地条件を最大限に活かし、消費者のニーズに即したマーケットインな農業生産を実践。安定的な販路の確保及び契約数増による高単価での販売により、農家の単位面積当たりの販売額が大きく増加。

【高収益作物】
スイカ　8.6ha
三浦かぼちゃ　0.9ha
青首ダイコン　7.0ha
早春キャベツ　17.4ha など

事業名：基盤整備促進事業（団体営）（平成27年度～平成29年度）、事業費：1,537百万円、受益面積：23.6ha
水利施設等保全高度化事業（平成27年度～令和9年度）、事業費：335百万円、受益面積：27.5ha

### 全国的なダイコンの産地である三浦半島

● **全国トップクラスの生産量を誇ります！**

市町村別のダイコン生産量（トン）

| | | |
|---|---|---|
| 1位 | 銚子市 | 62,300 |
| 2位 | 三浦市 | 60,100 |
| 3位 | 鳥取市 | 26,900 |
| 4位 | 新潟市 | 25,700 |

「令和3年度作物統計調査」

● **500万世帯以上分のダイコンを生産！**
60,100,000kg ÷ 11.7kg※1 ≒ 514万世帯分
※1　1世帯当たりの年間消費量（令和3年度家計調査）

● **生産性の高い農業が営まれています！**
60,100トン ÷ 679ha※2 ≒ 8.9トン／10a
※2　作付面積（令和3年度作物統計調査）

**面積当たりの収量は全国トップ**

収穫前のダイコン

三浦半島に広がる畑地帯

「陽炎」による暖の有効利用

事例集の詳細版や他地区の事例集はこちらから閲覧できます。
https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n8f/midoriplan.html

調製　東京都千代田区神田小川町3-22　内外地図株式会社
電話 03-3291-0328番代表